

投資事業評価調書（新規）

| | | | | | |
|--|--|----------------------------|--|-------------|----------------|
| 部課室名 | 砂防課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 砂防課長 市川和幸 (一宮大祐) | 内線 | 4459 (4465) |
| 事業種目 | 砂防事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 1.5 億円 |
| | | 通常砂防事業 のつがはまかわ 野津ヶ浜川 | 姫路市 いえしまちょうぼうぜ 家島町坊勢 | 内用地補償費 | 0.1 億円 |
| 所在地 | | | | 着手予定 年 度 | 完成予定 年 度 |
| 姫路市家島町坊勢 | | | | H 2 5 | H 2 7 |
| 事業目的 | | | 事業内容 | | |
| 土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家・市道等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。 | | | ・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2] | | |
| 評価視点 | 評価結果の説明 | | | | |
| (1)必要性 〔流域の状況〕 | ・(普)野津ヶ浜川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、土砂災害の危険性が高い。 | | | | |
| 〔保全対象等の状況〕 | ・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ250m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家54戸、市道(避難路)</u> | | | | |
| (2)有効性・効率性 〔効果〕 | ・警戒避難体制の整備に加え、ハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。 | | | | |
| 〔事業執行環境〕 | ・地元要望も強く、周辺道路の利用に地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。 | | | | |
| (3)環境適合性 | ・掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。 | | | | |
| (4)優先性 | ・保全人家が多く、市道など重要な公共施設の保全を図る必要があるため、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H25年度に事業着手し早急な対策が必要である。 | | | | |

のつがはまかわ
野津ヶ浜川
[姫路市]



計画概略図
縮尺 1 : 4 , 0 0 0

